

2024年3月15日

報道関係 各位

株式会社イオンファンタジー

能登半島被災地の保育園を訪問 子どもたちに“えがお”とあそびをお届け



株式会社イオンファンタジー（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：藤原徳也、以下、当社）は、3月7日（木）に能登半島地震で被災された子どもたちが通う保育園2カ所を訪問し、62名のお子さまとゲームやクイズ、そしてダンスなど楽しいイベントの時間を過ごし、“えがお”をお届けしました。

●「イオンの被災地支援活動」 子どもたちへ“えがお”を届ける訪問活動

能登半島地震で被災し、ストレスを抱えた子どもたちに少しでも“えがお”を取り戻してもらうため、輪島市からの要請を受け、被災地の保育園を訪問しました。

実施日：2024年3月7日（木）

訪問園：石川県輪島市 かわい保育園、わじまミドリ保育園

実施内容：ゲーム、クイズ、はたあげ体操等

●子どもたちへのあそびを提供する訪問活動の背景

当社は、「子どもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスのもと、子どもとそのファミリー向けに「たのしさ」「ふれあい」を通じて「遊び」を提供している会社です。この度の能登半島地震で被災された子どもたちの“えがお”のために「遊び」の力で何か元気にできることはないかと考えました。生命維持に関わるライフラインとは異なり、非常時には遊びはどうしても支援が後回しになりがちです。一方で、非常時の特にストレスを抱えた子どもた

ちにとって「遊び」が日常性を回復するために大きな役割を果たすことができるとも考えられています。当社も、子どもたちが遊びの中で発揮するパワーや“えがお”の力をこれまでの活動の中で強く感じてきました。今回は、これまでわたしたちが培ってきた遊びのノウハウをさまざまなコンテンツを通じて活かし、子どもたちの“えがお”づくりを通じて能登半島の未来に貢献したく、被災地の保育園を訪問させていただきました。

●イオンファンタジーのパーパス

「子どもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」

イオンファンタジーはパーパスのもと、“えがお”あふれる世界をつくるために、挑戦し続けます。

子どもたちの夢中を育み、 “えがお”あふれる世界をつくる。

子どもと向き合うことは、未来の大人と向き合うこと。
すなわち、次の社会をつくることです。

だから私たちは、効率化や最適化だけではとどき着けない
子どもたちの“えがお”に、誰よりも真剣に取り組みたいと思うのです。

私たちの夢中が、子どもたちの夢中を育む。“えがお”あふれる世界をつくるために。

イオンファンタジーは、挑戦し続けます。



●イオンファンタジーのサステナビリティ方針

URL : <https://www.fantasy.co.jp/company/sustainability/>

以上

【報道関係連絡先】 広報・サステナビリティグループ 広報：圓藤（えんどう）、大塚、山本

TEL : 043-212-6188 公式HP : <https://www.fantasy.co.jp/>